



2024 年 5 月 9 日（木）

（公財）愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
ブランド・チケットング課ブランドグループ（発表資料
に関すること）

担当：森、廣瀬

電話：052-746-9607（直通）

広報メディア課広報グループ（その他大会に関すること）

担当：金井塚、加藤

電話：052-951-2026（代表）

ウェブサイト：<https://www.aichi-nagoya2026.org/>

<https://www.asianparagames-2026.org/>

第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋) マスコット制作検討委員会の設置について

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会では、開催都市契約において公式マスコットキャラクターを制作することと定められていることから、第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）のマスコットの制作を進めていきます。制作にあたって、透明性・公正性を確保し、制作方針やコンセプト等について客観的観点からご意見・ご助言をいただくため、有識者から構成される「制作検討委員会」を設置し、制作の検討をまいります（制作検討委員一覧は別紙参照）。

1 委員

- [委員長] ひろむら まさあき 廣村 正彰 氏（廣村デザイン事務所代表取締役）
[委員] あしづか ともふみ 芦塚 倫史 氏（中京大学准教授）
いとう とよつぐ 伊藤 豊嗣 氏（名古屋造形大学学長）
たぐち あき 田口 亜希 氏（日本財団パラスポーツサポートセンター推進戦略部ディレクター）
たなか りさ 田中 里沙 氏（事業構想大学院大学学長）
みやした ひろし 宮下 浩 氏（グラフィックデザイナー）

2 議題（予定）

- ・制作方針の確認について
- ・制作コンセプトの確認について

3 開催スケジュール

第1回 2024 年 5 月 10 日（金）

第2回 2024 年 7 月上旬を予定

※1）本委員会の第1回は対面・オンラインの併用で実施します。

※2）審議に影響を及ぼす可能性があるため、**委員会は非公開**とします。

※3）委員会の様子等については、組織委員会HPにて随時更新してまいります。

第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)マスコット制作検討委員会

委員長



廣村 正彰 グラフィックデザイナー 廣村デザイン事務所 代表取締役

1954年愛知県生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのCI、VI計画、サインデザインを手がけている。主な仕事に、日本科学未来館、すみだ水族館、9hナインアワーズ、アーティゾン美術館、石川県立図書館、名古屋造形大学、LOFTのアートディレクション、東京2020スポーツビクトグラム開発、WDO世界デザイン会議東京2023など。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン金賞、DSA大賞ほか。著作『デザインからデザインまで』(ADP)他。

委員



芦塚 倫史 中京大学スポーツ科学部スポーツマネジメント学科 准教授

民間企業でのスポーツビジネスのキャリアを経て、中京大学スポーツ科学部の専任教員に。同学部のスポーツマネジメント学科の設立時(2021年4月)より現職。「スポーツマーケティング論」、「スポーツマネジメント演習」、「ゼミナール(スポーツマーケティング)」および「ダイバシティ社会論」などの授業を担当している。英国の大学院の修士課程に留学し、経営学修士(サッカー産業MBA)を取得。



伊藤 豊嗣 グラフィックデザイナー 名古屋造形大学 学長

1958年生まれ。1981年三重大学教育学部美術科卒業。1984年デザイン事務所設立。主な受賞歴に、公益財団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)ポスター大賞1993、JAGDA新人賞1994、第15回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ1996銅賞(ポーランド)、平成14年度名古屋市芸術奨励賞、上海万博(2010)・国際ポスターコンペティション名誉賞、第62回全日本広告連盟大会(2014)シンボルマークコンペ採用、Poster Stellars 2022 第2回国際ポスターコンペティション Political部門銅賞(アメリカ)他。



田口 亜希 公益財団法人日本財団バラスポーツサポートセンター 推進戦略部ディレクター

バリンピック射撃元日本代表。アテネ、北京、ロンドンと3大会連続でバリンピックに出場。アテネでは7位、北京では8位に入賞。2016年オリンピック・バリンピック招致活動では最終プレゼンターを務め、また2020年オリンピック・バリンピック招致における国際オリンピック委員会(IOC)評価委員会ではプレゼンテーションを行なった。東京2020オリンピック・バリンピック競技大会では、聖火リレー公式アンバサダー、選手村副村長としても大会を盛り上げた。日本バリンピック委員会運営委員、日本オリンピック委員会理事も務める。



田中 里沙 事業構想大学院大学学長

広報・広告・マーケティングの専門誌「宣伝会議」の編集長、取締役編集室長を経て、2016年に地方創生と新規事業の研究と人材育成を行う、学校法人先端教育機構「事業構想大学院大学」(名古屋校はJRゲートタワー27階)学長に就任。企業や自治体、他大学との連携による新事業、イノベーション、地域ブランディング等を企画し、推進する。「クールビズ」「育英」ネーミング、東京2020エンブレム、大阪・関西万博キャラクター、G7広島サミットロゴ等の審査員、政府広報アドバイザーのほか、審議会委員を務める。三重大学理事(広報・ブランディング担当)



宮下 浩 アジア・アジアパラ大会エンブレム制作者/グラフィックデザイナー

1961年、愛知県岡崎市出身。愛知県立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。愛知産業大学造形学部デザイン学科准教授を退任後、現在、グラフィックデザイナー。主な受賞歴に、世界ポスタートリエンナーレヤマ97/09 入選、おいしい東北パッケージデザイン展2017 審査委員賞(福島治賞)等。